

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

創立80周年記念式典

11月20日(金)、創立80周年記念式典が北九州市立八幡市民会館で行われ、1500名を超える生徒・学生・職員・保護者が一堂に会して80年の節目を祝いました。式辞の中で理事長は、「この節目に過去を振り返り、未来に向けて進んでいく決意をする時として用いていきたい。一人ひとりが世のため人のために役立つ人材として成長していくことが先輩や創立者そして家族の願いであろうと思います。」と述べ、100年に向けて一步一步歩み続けて行く決意をしました。また、日本キリスト教会牧師の野木虔一先生より「共に生きる教育—支えられて80年—」と題して説教がありました。



八幡市民会館にて



生徒会長の
好本楓さん

野木虔一先生



在校生代表挨拶

ご挨拶

謹啓 菊花薫る候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のご厚情を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

おかげさまで折尾愛真学園は、平成27年4月をもちまして創立80年を迎え本日ここに創立80周年の記念式典・祝賀会を開催いたすことができました。これもひとえに皆様のご支援の賜と深く感謝申し上げる次第でございます。

思いおこせば昭和10年4月、折尾高等簿記学校としてこの地に創立以来、キリスト教による人格教育と職業教育を建学の精神として、現在では短期大学、高等学校、中学校、幼稚園を包含する総合学園として時代の要請にいち早く耳を傾け、21世紀の国際人の育成に努めてまいりました。

そして今、創立80周年という記念すべき年にあたり、地域と共に、21世紀を担う若人の育成をモットーに、さらに教育内容を充実させていく所存でございます。

何とぞ、今後ともより一層のご支援ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

敬具

平成27年11月20日

学校法人 折尾愛真学園

学園長 増田

仰

創立 80 周年記念講演会

11月21日(土)、創立80周年記念講演会があり、講師に作家で精神科医の帚木蓬生先生をお迎えし、「福岡県今村の隠れキリシト教」と題してポルトガル人のアルメイダによってキリシト教による日本初の病院が大分にできたことなど九州におけるキリシト教の布教についてご講演をして頂きました。生徒からの質問にも丁寧に答えていただきました。



講演中の
帚木蓬生先生

生徒の質問に答え
られている先生



特別伝道集会

11月11日(水)、2015年度特別伝道集会が行われ、講師に韓国出身のフルート奏楽者ソン・ソルナム先生をお迎えし、ご講演とフルートの演奏をして頂きました。フルートは材質の違いで音色や音域に変化があることを生演奏の中で聴くことができました。また、講演の中で、「運命に左右されることなく、神様が与えて下さった御言葉を信じていける人になりなさい。」とメッセージを頂きました。



演奏中のソン・ソルナム先生



募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名/看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名/商業科 120名】
推薦入試要項 一般入試要項

学 科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成28年 1月8日(金)～ 1月20日(水) 受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

学 科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成28年 1月8日(金)～ 1月27日(水) 受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成28年 1月26日(火)	国語・数学・面接 特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成28年 1月28日(木)

試験日	試験科目	合格発表
平成28年 2月4日(木)	国語・数学・社会・理科・英語	平成28年 2月8日(月)

「草創期の黒田藩と栗山大膳」黒田家と関ヶ原の戦い②

西軍の兵力は石田・島津・毛利軍など、凡そ八万二千、東軍は福島・黒田・細川・加藤等、凡そ七万四千、関ヶ原に集結をはじめます。九月十四日夜半から十五日の明け方にかけて陣を敷き終わります。こうして、天下分け目の大決戦が九月十五日午前八時、深い霧の中で開始されました。実際の兵力は西軍が三万五千、東軍が七万四千と云われていますが、勢力の劣る西軍もよく戦い、正午頃まではどちらが優勢か半別しがたい情勢でしたが、福岡の名島城主小早川秀秋(北政所・秀吉の妻の甥)の東軍への寝返りによって、西軍の形成が一気に悪くなり、午後四時頃には東軍の大勝が決定したと云われます。小早川秀秋の寝返りには、黒田長政が一役買ったと云われ、また、文禄・慶長の役以来、三成憎しの思いを共有していた福島正則に対しても家康側に就くように説得したのも長政で、戦後、東軍勝利に導いた功績によって、小早川秀秋の旧領である筑前五十二万石を拝領することになります。勝利の立役者小早川秀秋は、其の功によって筑前名島三十三万六千石から備前五十一万四千石に加増されて移封しますが、二年後の慶長七年(1603)、裏切りの呵責と自責の念で、日夜苦悩を続け、精神的に体調を毀し、二十二歳の若さで亡くなります。秀秋には子がなく、無嗣廃絶となります。家康の老獪な作戦にのって、実質秀頼側を敗戦に導き、天下は家康の手に握られた姿を見て、慙愧の思いで悩んだに違いありません。この年の五月、家康は二条城の道堂を諸大名に命じて、天下人の実力を天下に知らしめています。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大膳」より